

保護者の皆様

横浜市教育委員会

学校における熱中症予防とマスク着脱について

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策について御協力いただき、厚くお礼申し上げます。

6月27日に過去最も早い梅雨明けが発表され、本格的な夏を迎えました。連日の高温により、横浜市内の学校においても熱中症による被害が懸念されています。

現在、横浜市立学校では、感染症対策としてマスクの着用を基本としていますが、熱中症は命に関わる危険があることを踏まえ、熱中症予防とマスク着脱について、下の枠囲みのとおり児童生徒に指導しています。

併せて、高温が続いている状況から、学校では、児童生徒一人ひとりの健康状況をよく観察し、健康被害が発生する可能性が高い状況であれば、活動内容の変更やマスクを外すよう指導することとしています。

保護者の皆様におかれましても、熱中症のリスクが高い場合には、マスクを外すことについて、学校とともにお子様にお話しいただきますよう御理解、御協力をお願いいたします。

なお、学校では、体質等によってマスクを着用できない児童生徒などが、マスクの有無によって差別やいじめの対象とされることのないよう、引き続き指導してまいります。

〔熱中症予防とマスク着脱について〕（横浜市立学校 熱中症対策ガイドラインより抜粋）

- 屋外で距離を取って活動する場合にはマスクを着用する必要はないこと
- 暑さ指数（WBGT）※を確認の上、熱中症のリスクが高い場合には、屋内外に関わらず、体育の授業や部活動等運動時はマスクを外すこと
- 登下校中は、熱中症のリスクを回避することが難しいことから、状況に応じて、保護者の方、地域の方の理解や協力を得ながらマスクを外すこと
- マスクを外す場合には、できるだけ身体的距離を保つ、近距離での会話を控えるようにするなど配慮をすることが望ましいが、熱中症は命に関わる危険があることを踏まえ、屋内外に関わらず、熱中症への対応を優先すること

※ 暑さ指数（WBGT）とは、人体と外気との熱のやりとり（熱収支）に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい ①湿度、②日射・輻射など周辺の熱環境、③気温 の3つを取り入れた指標です。【環境省 熱中症予防情報サイトより】